

地域住民招き 祭りを楽しむ

川口、グリーンビレッジ安行

埼玉県を中心に28病院、6介護老人保健施設などを展開する戸田中央医科グループの介護老人保健施設、グリーンビレッジ安行(川口市安行)で27日、同施設主催の「ふれあい安行祭り2017」一祭合彩」が開かれた。

今年で13回目。施設の駐車場を会場に、利用者やその家族、地域の人々ら約600人が盆踊りや屋台などを楽しんだ。利用者による音楽発表会も行われ、楽器を片手に、リズムに合わせながらにこやかな表情を浮かべていた。

同施設を通所で利用する祖

母(79)と訪れた同市の釣さん一家は「毎年来ている。今日は特別におばあちゃんがうれしそう」と和やかに話す。浴衣を着た孫の瑞月さん(6)も「屋台のゲームが楽しかった」と笑顔を見せた。



音楽発表をする利用者とバックで踊る職員ら。27日、川口市安行のグリーンビレッジ安行

「音が聞こえたから歩いて来た」と話すのは、近くに住む小学3年の宮原真優さん(9)。母と共に「老人ホームの人の演奏が上手だった」とほほ笑んだ。

同施設の妹尾幸昌事務長と梅川奈緒療養部長は、祭りについて「ここが開所した年から毎年やっている一大イベント。利用者は普段、施設内で一日を過ごすことが多いので、家族と一緒に外で自由に季節を味わってほしい」と話していた。(中野えみり)